

平成19年「東海の古代」(87号～88号) 目録

号数	発行年月	分 類	表 題	連載回数	頁	著 者	備 考
87	19年11月	挨拶・ 弔文	弔文		1	古田武彦	
			林俊彦さんを悼む		1	代表 水野孝夫	古田史学の 会
			会長に就任して		2	会長 竹内 強	
		論 文	失われた一大国		3	林 俊彦	
			続・失われた一大国		4	林 俊彦	
			一大国はなかった		5	林 俊彦	
88	19年12月	論 文	一大国異説		1	林 俊彦	
			磐井の乱はなかった？ －林俊彦氏のご冥福を祈って－	1	3	石田敬一	

平成20年「東海の古代」(89号～100号) 目録

号数	発行年月	分類	表 題	連載回数	頁	著 者	備 考
89	20年 1月	挨拶	新年のご挨拶		1	会長 竹内 強	
		論文	磐井の乱はなかった？ －林俊彦氏のご冥福を祈って－	2	2	石田敬一	
			草薙剣異説	1	5	林 俊彦	
90	20年 2月	論文	「磐井の乱はなかった」に対する問題提議等についての私の考え	1	1	石田敬一	
			草薙剣異説	2	4	林 俊彦	
		ひろば	五瀬命の「五瀬」の読み方		6	林 伸禧	
91	20年 3月	論文	古代史の再検討－絶対年代の復元－	1	1	加藤勝美	
			「磐井の乱はなかった」に対する問題提議等についての私の考え	2	4	石田敬一	
			草薙剣異説	3	10	林 俊彦	
92	20年 4月	その他	古代出雲旅行のお誘い		1	田中正一	
		論文	「磐井の乱はなかった」に対する問題提議等についての私の考え	3	4	石田敬一	
			古代史の再検討－絶対年代の復元－	2	8	加藤勝美	
			草薙剣異説 《番外編1》『和名抄』のクサ	4	12	林 俊彦	
		ひろば	『二中歴』に関する文献の留意点		14	林 伸禧	
93	20年 5月	論文	「磐井の乱はなかった」に対する問題提議等についての私の考え	最終回	1	石田敬一	
			古代史の再検討－絶対年代の復元－	3	9	加藤勝美	
			草薙剣異説 《番外編2》草薙剣の「崇」と「崇」	5	14	林 俊彦	
94	20年 6月	訪問記	出雲（島根県）探訪記		1	加藤勝美	
		論文	長屋親王について		5	石田敬一	
			古代史の再検討－絶対年代の復元－	4	7	加藤勝美	
		ひろば	公立図書館・大学付属図書館の利用		13	林 伸禧	
95	20年 7月	論文	古代史の再検討－絶対年代の復元－	5	1	加藤勝美	
		ひろば	日本随筆大成〈第3期〉第13巻『塩尻』（卷之二十四 皇年代記抜抄）について		5	林 伸禧	
		書 評	「神武が来た道」（最終回）伊東義彰氏著を読んで『なかった－真実の歴史学－』（第5号）収録		11	竹内 強	

号数	発行年月	分類	表題	連載回数	頁	著者	備考
96	20年 8月	報告	愛知県豊橋市馬越長火塚古墳について		1	石田敬一	
		論文	古代史の再検討－絶対年代の復元－	6	6	加藤勝美	
		ひろば	ヤマトタケルのクマソ退治		10	林 俊彦	
97	20年 9月	論文	二倍年暦による天皇の年代再検討に関連して		1	石田敬一	
			古代史の再検討－絶対年代の復元－	7	9	加藤勝美	
			『隋書』倭国伝の倭王について		14	林 伸禧	
98	20年10月	論文	多利思北孤の読み方について		1	石田敬一	
			古代史の再検討－絶対年代の復元－	8	3	加藤勝美	
		ひろば	すくな宿 ^{すくな} 難か ^{しやく} ぼちやと ^{しやく} 笏		9	竹内 強	
99	20年11月	論文	ワカタケル考		1	石田敬一	
			古代史の再検討－絶対年代の復元－	9	5	加藤勝美	
		ひろば	「大化」は最初の年号か		14	林 伸禧	
100	20年12月	挨拶	「東海の古代」100号発刊にあたって		1	会長 竹内 強	
		論文	漢委奴国王の金印について		2	石田敬一	
			古代史の再検討－絶対年代の復元－	10	3	加藤勝美	
			2008年度日本思想史学会での古田先生の発表		12	石田敬一	
		ひろば	飛驒の伽藍と仏教の戒律		14	竹内 強	
県外図書館からの図書貸出			15	林 伸禧			

※正誤 98号に記載。

平成21年「東海の古代」(101号～112号) 目録

号数	発行年月	分類	表 題	連載回数	頁	著 者	備 考
101	21年 1月	挨拶	2009年の年明けにあたって		1	会長 竹内 強	
		論 考	『日本書紀』の改削について		1	林 伸禧	
			古代史の再検討－絶対年代の復元－	1 1	7	加藤勝美	
102	21年 2月	論 考	古代史の再検討－絶対年代の復元－	1 2	1	加藤勝美	
		論 評	^{ひとつき} “一月十五日説”の問題点	1	10	石田敬一	
103	21年 3月	挨拶	－加藤勝美氏論文「古代史の再検討」掲載についての－ 古田史学の会・東海」の立場と対応		1	会長 竹内 強	
		論 評	^{ひとつき} “一月十五日説”の問題点	2	3	石田敬一	
			感想、その1		4	田中正一	
			感想、その2		5	石田敬一	
			感想、その3		6	高野良浩	
			加藤勝美氏著「古代史の再検討」について	7	7	林 伸禧	
104	21年 4月	論 考	『日本書紀』の改削について	2	2	林 伸禧	
		論 評	「二倍年暦」について －加藤試論へのひとくち感想－		6	岡田涼子	
		論 考	最古暦木簡をめぐって		6	加藤勝美	
		ひろば	－愛知県刈谷市の－天子神社と海土族の伝播	12	12	竹内 強	
105	21年 5月	論 考	『二中歴』の成立時期		1	林 伸禧	
		論 評	古田武彦『ソクラテス考』に 遅ればせながらのファンレター		9	岡田涼子	
106	21年 6月	探訪記	両面宿儺のふるさとを訪ねて		2	竹内 強	
		論 考	ワシトリ		6	石田敬一	
			崇徳上皇の怨霊は今に生きるか？		11	宇田川 和好	
107	21年 7月	挨拶	会長留任にあたって －2009年度役員体制について		1	竹内 強	
		講演録	古賀達也氏の講演についての報告		2	石田敬一	
		論 考	古代逸年号資料	1	6	林 伸禧	
		書 評	『なかった－真実の歴史学』		8	竹内 強	

号数	発行年月	分類	表題	連載回数	頁	著者	備考
108	21年 8月	論考	「始」と「初」		1	竹口健三	
			「始めて」について		2	石田敬一	
			飛驒と両面宿儺	1	4	竹内 強	
			古代逸年号資料	2	7	林 伸禧	
		ひろば	第2 1回愛知サマーセミナーに参加しました		7	竹内 強	
109	21年 9月	論考	『聖徳太子平氏傳雜勘文』の「日本記・日本書記」について		1	林 伸禧	
			銅鐸とは何か		3	竹内 強	
			古代逸年号資料	3	6	林 伸禧	
		ひろば	古田先生と岐阜県河川環境研究所		7	竹内 強	
110	21年10月	論考	もう一つの「裸国・黒齒国」 －石器代の遠洋航海者－	1	1	佐藤久男	
			軍尼と伊尼について －例会で問題提起された疑問に挑む－		5	石田敬一	
			古代逸年号資料	4	11	林 伸禧	
111	21年11月	論考	持統紀七年十月の「始」と仁王経について －古賀達也氏の関西例会の発表について－		1	石田敬一	
			古代逸年号資料	5	9	林 伸禧	
		ひろば	西太平洋の海流		10	竹口健三	
112	21年12月	論考	もう一つの「裸国・黒齒国」 －石器代の遠洋航海者－	2	1	佐藤久男	
			古代逸年号資料	6	8	林 伸禧	
		ひろば	松本清張と古田武彦		9	竹内 強	

平成22年「東海の古代」(112号～124号) 目録

号数	発行年月	分類	表 題	連載回数	頁	著 者	備 考
113	22年 1月	挨 拶	2010年の年頭にあたって		1	会長 竹内 強	
		論 考	安本美典著『古代九州王朝はなかつた』を読んで	1	2	石田敬一	
			古代逸年号資料	7	8	林 伸禧	別表8-1・8-2
		ひろば	書評三題		10	竹内 強	
114	22年 2月	論 考	『記紀』に記された船眼について		1	黄 當時	
			雑記－倭人伝に始まり 倭人伝に還る		4	大西能生	
			安本美典著『古代九州王朝はなかつた』を読んで	2	7	石田敬一	
115	22年 3月	論 考	安本美典著『邪馬一国はなかつた』を読んで	1	1	石田敬一	
			古代逸年号資料	8	9	林 伸禧	別表9-1・9-2
		ひろば	西暦年干支の算出		10	加藤勝美	
116	22年 4月	論 考	安本美典著『邪馬一国はなかつた』を読んで	2	1	石田敬一	
		ひろば	西暦・年干支換算の算出方法について		9	林 伸禧	
117	22年 5月	論 考	安本美典著『邪馬一国はなかつた』を読んで	3	1	石田敬一	
118	22年 6月	論 考	纏向遺跡は邪馬壹国か		1	竹内 強	
			邪馬台国東遷説批判		2	石田敬一	
119	22年 7月	論 考	安本美典氏の「古代天皇平均在位年数論」批判		1	棟上寅七	
			古代逸年号と聖徳太子伝		8	林 伸禧	
		ひろば	古田武彦古代史コレクション1 『「邪馬台国」はなかつた』を読んで		11	竹内 強	
			百濟年号		14	林 伸禧	
120	22年 8月	報 告	第2回愛知サマーセミナーに参加して		1	編集部	
			記紀が示す九州王朝の存在		4	石田敬一	
			伊勢湾・三河湾への海人族の伝播 (五世紀後半から六世紀)		9	竹内 強	
			『群書類従』(正・続)に記載されている 『皇代記・皇代略記・皇年代略記』の古代逸 年号		11	林 伸禧	

号数	発行年月	分 類	表 題	連載回数	頁	著 者	備 考
121	22年 9月	論 考	「二倍年齢」について		1	石田敬一	
			古代逸年号資料	9	7	林 伸禧	別表10-1・10-2
		ひろば	小さな普及活動		10	石田敬一	
			安本美典説の論評		10	林 伸禧	
122	22年10月	論 考	二倍年暦と稲作		1	石田敬一	
			文帝と仏教		7	竹内 強	
			韓国内陸行説－平瀬英司説の紹介－		8	林 伸禧	
		ひろば	小さな普及活動		10	石田敬一	
			筑前の地名「日向」について		10	林 伸禧	
123	22年11月	報 告	第7回古代史セミナー 「日本古代史 新考 自由自在 (その3)」 報告〈速報〉		1	石田敬一	
		論 考	外国史料に掲載されている古代逸年号	1	7	林 伸禧	別紙・古代逸年号年表
124	22年12月	論 考	戸と家		1	石田敬一	
			阿久比 <small>くひ</small> の地名と蝦神		4	竹内 強	
			外国史料に掲載されている古代逸年号	2	7	林 伸禧	別表2～5

平成23年「東海の古代」(125号～136号) 目録

号数	発行年月	分類	表 題	連載回数	頁	著 者	備 考
125	23年 1月	挨拶	2011年 新年あけましておめでとうございます		1	会長 竹内 強	
		論考	法隆寺に関して	1	2	石田敬一	
		ひろば	中国二十四史に記述されている「倭・日本」 を掲載している書物		7	林 伸禧	別表2～5
			<small>ぼくえいかつ</small> 莫曳皆と蝦夷		10	竹内 強	
126	23年 2月	論考	「数」の論理		1	石田敬一	
			持統大化年号存在の微証		5	林 伸禧	別表1～4
			法隆寺に関して	2	8	石田敬一	
127	23年 3月	論考	『二倍暦の一証明』について	1	1	石田敬一	
			再び“一月・十五日暦説”について		3	石田敬一	
			「神武東征」における記紀の違い		6	竹内 強	
			外国史料に掲載されている神代・天皇代		8	林 伸禧	別表2
128	23年 4月	論考	『不知正歳四節但計春耕秋収爲年紀』について		2	石田敬一	
			『日本書紀』年表		5	林 伸禧	別表1-2・2
			再び『二倍暦の一証明』について		7	石田敬一	
			日本稲作の起源は		8	竹内 強	
129	23年 5月	訪問記	福岡県の遺跡巡り		1	石田敬一	
		論考	年号「継体」をめぐって		3	洞田一典	
			明治初期の教材に現れたる古代逸年号		6	林 伸禧	

号数	発行年月	分類	表題	連載回数	頁	著者	備考
130	23年 6月	論考	持統四年十一月条の奉勅の解釈		1	林 伸禧	
		訪問記	福岡県の遺跡巡り（二日目）		8	石田敬一	
131	23年 7月	論考	「大化改新」はなかった		1	横田幸男	
		訪問記	尾張国式内社巡り－古代史上の意義－		3	加藤勝美	
		ひろば	『日本書紀』暦日の誤り		7	林 伸禧	表2・3
		訪問記	福岡県の遺跡巡り（三日目）		9	石田敬一	
132	23年 8月	報告	第23回愛知サマーセミナー2011に参加して		1	編集部	
			中学校の歴史教科書		4	林 伸禧	「参考資料」
		訪問記	久留米レポート		5	石田敬一	
133	23年 9月	論考	中学校で使用する歴史教科書の概要	1	1	林 伸禧	別紙1～3
			倭国は倭国の誤りか		3	竹内 強	
		訪問記	尾張国式内社巡り－古代史上の意義－	2	5	加藤勝美	
134	23年10月	訪問記	久留米レポート	2	1	石田敬一	
		論考	年代記類に記載されている古代逸年号		12	林 伸禧	別表1・2
135	23年11月	論考	双脚輪状文		1	石田敬一	
		訪問記	美濃國巡り（美濃紙と刃物の里）		8	加藤勝美	
		論考	古代逸年号『 <small>じんけいしやう</small> 塵荊鈔』について		11	林 伸禧	
136	23年12月	論考	法隆寺観音菩薩立像台座の銘文について		1	竹内 強	
			高天原を巡って	1	5	加藤勝美	
			邪馬壹国への道筋	1	8	石田敬一	
		その他	平成23年 掲載論文等目録		13	編集部	

平成24年「東海の古代」(137号～148号) 目録

号数	発行年月	分類	表 題	連載回数	頁	著 者	備 考	
137	24年 1月	挨拶	2012年 新年のごあいさつ		1	会長 竹内 強		
		論 考	“「邪馬壹国」と「投馬国」の解明”を讀んで		3	石田敬一		
			高天原を巡って	2	6	加藤勝美		
			“「東西五月行・南北三月行」と倭国の首都”について		10	石田敬一		
138	24年 2月	論 考	『隋書』倭国伝の竹島について	1	1	石田敬一		
			高天原を巡って	3	4	加藤勝美		
			『日本書紀』年表	2	7	林 伸禧		
			東西五月行南北三月行について		8	石田敬一		
			評制の起源について		14	竹内 強		
139	24年 3月	論 考	邪馬壹国への道筋	2	1	石田敬一		
			高天原を巡って	4	8	加藤勝美		
			古代の暦に関する史料 －古代史覚書帳－	1	10	林 伸禧		
			法隆寺観音菩薩立像台座の銘文〈追記〉		13	石田敬一		
140	24年 4月	論 考	東西五月行南北三月行について	2	1	石田敬一		
			高天原を巡って		5	7	加藤勝美	
			明治時代の「二倍年暦」論 －古代史覚書帳－		9	林 伸禧	別紙「講演要旨」	
			『隋書』倭国伝の竹島について	2	10	石田敬一		
			須恵器の源流とその発展		12	竹内 強		
141	24年 5月	論 考	生口について		1	石田敬一		
			高天原を巡って	6	4	加藤勝美		
			『日本書紀』年表	3	7	林 伸禧	別冊『日本書紀』年表 1 (神代)	

号数	発行年月	分類	表題	連載回数	頁	著者	備考
142	24年 6月	論考	高天原を巡って	最終回	2	加藤勝美	
			消された正月－持統朝改暦始末記－		4	洞田一典	
			「持統周正仮説」の微証－朱鳥年号－		10	林 伸禧	
143	24年 7月	論考	「女王国」について －野田利郎氏の回答に答えて－		1	石田敬一	
			『三国志』における日付けの干支表現		9	洞田一典	
		訪問記	平成24年度春の遺跡巡り		11	加藤勝美	
144	24年 8月	報告	古田武彦講演会を開催しました。		1	編集部	
		論考	『隋書』倭国伝の竹島と「羅國」		5	石田敬一	
			倭人の二倍年暦と暦		14	佐藤章司	
		ひろば	有坂隆道著『古代史を解く鍵』の持統4年奉勅記事について		18	林 伸禧	
145	24年 9月	論考	天皇の生年・没年について	1	1	石田敬一	
			倭健命／日本武尊考		9	佐藤章司	
146	24年10月	論考	天皇の生年・没年について	2	1	石田敬一	
			『日本書紀』の中国史料収集時期考		8	佐藤章司	
		ひろば	煬帝は、なぜ裴世清を倭国に派遣したか －古代史覚書帳－		10	林 伸禧	
147	24年11月	論考	持統・文武の大嘗を疑う －「持統周正仮説」による検証		1	洞田一典	
			最古の「戸籍」木簡	1	7	石田敬一	
		ひろば	講談社学術文庫『日本書紀』（上）での誤訳 －古代史覚書帳－		10	林 伸禧	
148	24年12月	論考	倭国の貨幣制度		1	佐藤章司	
			「邪馬」の読み		4	石田敬一	
		ひろば	『日本書紀』記事の異説 －古代史覚書帳－	1	6	林 伸禧	
			赤塚次郎著「幻の王国・狗奴国を旅する」 を読んで		10	竹内 強	
			平成24年 掲載論文等目録		13	編集部	

平成25年「東海の古代」(149号～160号) 目録

号数	発行年月	分類	表 題	連載回数	頁	著 者	備 考
149	25年 1月	挨拶	2013年 あけましておめでとうございます。		1	会長 竹内 強	
		論 考	「身冉牟羅國」は「南海の国」か		2	石田敬一	
			難波長柄豊碓宮と難波の朝 ^{みかど}		6	佐藤章司	
		ひろば	『日本書紀』記事の異説 —古代史覚書帳—	2	10	林 伸禧	
150	25年 2月	論 考	対馬や済州島の珊瑚礁について		1	石田敬一	
			『日本書紀』年表	3	2	林 伸禧	『日本書紀』 年表3(仁徳 紀～武烈紀)
			九州王朝の「評と冠位」考		8	佐藤章司	
		ひろば	日本に於ける「竹島」の地名について		10	石田敬一	
151	25年 3月	論 考	魏朝、景初・正始年の朔干支		1	林 伸禧	参考「三正 綜覧(拔萃)」
			中国史書における珊瑚樹について		7	石田敬一	
			『韓国道路地図』の竹島		10	石田敬一	
			製塩土器についての一考察		14	竹内 強	
152	25年 4月	論 考	野中寺弥勒像が明かす古代の真実 —銘に刻まれた暦注・十二直「開」—			洞田一典	
			最古の「戸籍」木簡～弥生時代の人口～	2		石田敬一	
			新益京は九州王朝の終都			石田敬一	
153	25年 5月	論 考	ハングル文字と竹島		2	石田敬一	
			日本神話と貝文化考		5	佐藤章司	
		ひろば	中国の暦(三正) —古代史覚書帳—		7	林 伸禧	別紙「年表 —則天皇后」
			『古事記』真福寺本について		10	石田敬一	
			『日本書紀』記事の異説(1)・追加 —古代史覚書帳—		11	林 伸禧	
154	25年 6月	論 考	七支刀と「こうやの宮」の人形の考察	1	1	石田敬一	
		ひろば	中国の暦(三正) —古代史覚書帳—	2	7	林 伸禧	
		論 考	藤原宮と新益京	1	10	石田敬一	

号数	発行年月	分類	表 題	連載回数	頁	著 者	備 考
155	25年 7月	論 考	「遣隋使」と『隋書』倭国伝		2	林 伸禧	別表A・B・C・D
			七支刀と「こうやの宮」の人形の考察	2	8	石田敬一	画像1・2・3
			小林達雄氏のエヴァンズ説批判について －縄文土器太平洋横断説批判－		14	竹内 強	
156	25年 8月	論 考	七支刀と「こうやの宮」の人形の考察	3	2	石田敬一	
			飛鳥浄御原宮と天皇の称号 (薬師寺は九州王朝が建立)		8	佐藤章司	
		ひろば	韓国地名（竹等）について －古代史覚書帳－		14	林 伸禧	略図、 別表1・2・3
157	25年 9月	論 考	「遣隋使」と『隋書』倭国伝	2	3	林 伸禧	別表
			七支刀と「こうやの宮」の人形の考察	4	4	石田敬一	
			「飛鳥浄御原律令と『日本紀』編纂」考		9	佐藤章司	
158	25年10月	論 考	天鳥船、天鵠船、天磐船 －鳥を舶載する、アウトリガー・フロート付き外洋航海船－	1	1	黄 當時	
			七支刀と「こうやの宮」の人形の考察	5	5	石田敬一	
			神無月 －古代史覚書帳－		11	林 伸禧	別表1・2、参 考
159	25年11月	論 考	天鳥船、天鵠船、天磐船 －鳥を舶載する、アウトリガー・フロート付き外洋航海船－	2	1	黄 當時	
			九州王朝の遣唐使	1	4	佐藤章司	
			藤原宮と新益京	2	7	石田敬一	
			持統四年十一月條の奉勅の解釈（追加）		9	林 伸禧	
160	25年12月	論 考	天鳥船、天鵠船、天磐船 －鳥を舶載する、アウトリガー・フロート付き外洋航海船－	3	1	黄 當時	
			七支刀と「こうやの宮」の人形の考察	6	4	石田敬一	
			ひみか 卑彌呼の死	1	6	佐藤章司	
			平成25年 掲載論文等目録		10	編集部	

平成26年「東海の古代」(161号～172号) 目録

号数	発行年月	分類	表 題	連載回数	頁	著 者	備 考
161	26年 1月	挨拶	2014年 年頭にあたって		1	会長 竹内 強	
		論 考	繊維街の源流を求めて	1	2	加藤勝美	
			鉄の古代史		4	竹内 強	
			非時香菓		8	石田敬一	
			九州王朝の遣唐使	2	10	佐藤章司	
162	26年 2月	論 考	常世の長鳴鳥		1	石田敬一	
			中国史料による日本古代史	1	3	林 伸禧	別紙1～4
			九州王朝の遣唐使	3	10	佐藤章司	
			繊維街の源流を求めて	2	13	加藤勝美	
163	26年 3月	論 考	登岐土玖能迦玖能木實		2	石田敬一	
			繊維街の源流を求めて	3	10	加藤勝美	
164	26年 4月	論 考	<small>ちようそう</small> 罌 艸		1	石田敬一	
			「法興」年号に関する考察		9	竹嶋正雄	
			九州王朝の遣唐使	4	13	佐藤章司	
			「漢委奴国王」について		17	林 伸禧	
165	26年 5月	論 考	金印「漢委奴国王」の読みと意味について	1	1	黄 當時	
			繊維街の源流を求めて	4	4	加藤勝美	
			『古事記』歌謡における万葉仮名 —古代史覚書帳—		6	林 伸禧	別冊
			海行三月		8	石田敬一	
166	26年 6月	論 考	金印「漢委奴国王」の読みと意味について	2	2	黄 當時	
			繊維街の源流を求めて	4	4	加藤勝美	
			法興年号—古代史覚書帳—		10	林 伸禧	別紙1・2

号数	発行年月	分類	表題	連載回数	頁	著者	備考
167	26年 7月	論考	金印「漢委奴国王」の読みと意味について	3	1	黄 當時	
			九州王朝の遣唐使	5	10	佐藤章司	
		訪問記	近畿大和（奈良県ほか）探訪記		12	加藤勝美	
168	26年 8月	論考	年輪年代法に思う		1	石田敬一	
			日本人のルーツ		2	竹内 強	
			繊維街の源流を求めて	6	4	加藤勝美	
			九州王朝の遣唐使	6	6	佐藤章司	
			『日本書紀』の書名と性格		9	石田敬一	
169	26年 9月	論考	北海道における古代史の観点 （アイヌ文化に対する見方）		1	竹内 強	
			逸年号		4	石田敬一	
			九州王朝の遣唐使		7	佐藤章司	
			「遣隋使」と『隋書』倭国伝（追記）	1	11	林 伸禧	
170	26年10月	論考	九州王朝と百済国 －七支刀と珊瑚樹－	1	1	佐藤章司	
			欠史八代の天皇と葛城氏		9	竹寫正雄	
			「遣隋使」と『隋書』倭国伝（追記）	2	16	林 伸禧	
171	26年11月	論考	古代逸年号「法興」に関わる疑念		1	石田敬一	
			遣隋使と遣唐使を探る		5	竹寫正雄	
			九州王朝と百済国	2	11	佐藤章司	
172	26年12月	論考	難波の宮の真実	1	1	竹寫正雄	
			「日本国」国号制定考		6	佐藤章司	
		訪問記	尾張西部（清洲市及び一宮市）探訪記		10	加藤勝美	
		論考	古代逸年号に関わる疑念	2	12	石田敬一	
		その他	平成26年 掲載論文等目録		10	編集部	

平成27年「東海の古代」(173号~184号) 目録

号数	発行年月	分類	表 題	連載回数	頁	著 者	備 考
173	27年 1月	挨拶	2015年(平成27年)年頭にあたって		1	会長 竹内 強	
		論 考	神功紀と百済王系譜－古代史覚書帳－		2	林 伸禧	別表1・2
			難波の宮の真実	2	4	竹嶋正雄	
			濟州島の古代文化の謎		7	山田 裕	
174	27年 2月	論 考	難波の宮の真実	3	1	竹嶋正雄	
			古代伊豫国にみる「逸年号」		5	山田 裕	
			古代逸年号に関わる疑念	3	10	石田敬一	
175	27年 3月	論 考	古代逸年号に関わる疑念	4	1	石田敬一	
			野中寺弥勒菩薩半跏思惟像の銘文考察	1	7	竹嶋正雄	
			古代朝鮮半島における「二倍年暦」 －古代史覚書帳－		10	林 伸禧	別表1・2 ・3
176	27年 4月	論 考	隅田八幡神社人物画像鏡銘文の考察		1	竹嶋正雄	
			古代逸年号に関わる疑念	5	6	石田敬一	
			推古紀における新羅遣使－古代史覚書帳－		13	林 伸禧	
177	27年 5月	論 考	国家の成立と弥生墓の発達から見る大和の遅れ		1	竹嶋正雄	
			隅田八幡神社人物画像鏡銘文の考察	2	4	竹嶋正雄	
			古代逸年号に関わる疑念	6	5	石田敬一	
			『二中歴』年代歴の「兄弟、藏和」年号 について－古代史覚書帳－	1	7	林 伸禧	
			都塚古墳		10	石田敬一	
			「白鳳・大化」九州年号概考 改題：九州年号－1(白鳳、大化)	1	13	佐藤章司	

号数	発行年月	分類	表題	連載回数	頁	著者	備考
178	27年 6月	論考	『二中歴』年代歴の「兄弟、蔵和」年号について(追加)－古代史覚書帳－	2	1	林 伸禧	別表1～4
			南極老人		6	石田敬一	
			雄略天皇と倭王武		7	竹嶋正雄	
			九州年号－2(大化－2、朱鳥)	2	13	佐藤章司	
			法隆寺の諸問題	1	15	山田 裕	
179	27年 7月	論考	中皇命と有間皇子		1	佐藤章司	
			雄略天皇と獲加多支鹵大王		4	竹嶋正雄	
			法隆寺の諸問題	2	9	山田 裕	
			飛鳥と難波		20	石田敬一	
180	27年 8月	報告	愛知サマーセミナー結果報告 教科書が書かない日本古代史の真実とは！		1	石田敬一	
		論考	天氏、尾張氏の時代	1	2	加藤勝美	
			法隆寺の諸問題	3	5	山田 裕	
			小郡宮と大郡宮と難波長柄豊碕宮		11	佐藤章司	
			倭の30ヶ国の所在地を考える		13	竹嶋正雄	
			『二中歴』年代歴の「兄弟、蔵和」年号について(追加2)－古代史覚書帳－	3	14	林 伸禧	
			獲加多支鹵		15	石田敬一	
181	27年 9月	論考	推古十一年の冠位十二階－古代史覚書帳－		1	林 伸禧	別紙
			冠位十二階		3	石田敬一	
			万葉集と九州王朝		5	佐藤章司	
			天氏、尾張氏の時代	2	10	加藤勝美	
			九州年号－3(白鳳その2) －白鳳時代を統治した天皇は誰か－	3	12	佐藤章司	
			ひろば	古代逸年号を見つけたよ	1	15	石田敬一
		182	27年10月	論考	天氏、尾張氏の時代	3	1
継体天皇即位までの過程					3	竹嶋正雄	
倭國伝の秦王國について					8	石田敬一	
ひろば	また古代逸年号を見つけたよ			2	12	石田敬一	

号数	発行年月	分 類	表 題	連載回数	頁	著 者	備 考
183	27年11月	弔 辞	古田武彦先生との思い出		2	竹内 強	
			御霊前に捧ぐー「古田武彦著作目録」ー		2	林 伸禧	別紙
			古田先生とのエピソード		3	石田敬一	
		論 考	『甚目寺縁起』における古代逸年号		4	林 伸禧	
		ひろば	古田武彦著作目録		7	林 伸禧	
		論 考	天氏、尾張氏の時代	3	8	加藤勝美	
			継体天皇と九州王朝		10	竹寫正雄	
ひろば	また古代逸年号を見つけたよ	3	15	石田敬一			
184	27年12月	論 考	欽明天皇と九州王朝		1	竹寫正雄	
			天氏、尾張氏の時代	4	6	加藤勝美	
			中国史料による日本古代史ー古代史覚書帳ー		8	林 伸禧	別冊
			『隋書』を徹底して読むー東夷伝百濟條ー		9	石田敬一	

平成28年「東海の古代」（185号～196号）目録

号数	発行年月	分類	表 題	連載回数	頁	著 者	備 考
185	28年 1月	論 考	『隋書』を徹底して読む －東夷伝百濟條・その2－		1	石田敬一	
			天氏、尾張氏の時代	5	2	加藤勝美	
			欽明天皇と九州王朝	2	5	竹嶋正雄	
		その他	「東海の古代」（173号～184号）目録		9	編集部	
		報 告	また古代逸年号を見つけたよ	4	11	石田敬一	
186	28年 2月	論 考	天氏、尾張氏の時代	6	1	加藤勝美	
			七支刀の倭王、百濟王世子とは誰か		4	竹嶋正雄	
			青森県十三湊における興国の大津波 －産経新聞記事－		9	林 伸禧	資料1～3
187	28年 3月	論 考	欠史八代の天皇家を継いだ蘇我氏		1	竹嶋正雄	
			中国史料による日本古代史（新訂版）		4	林 伸禧	
			天氏、尾張氏の時代	7	5	加藤勝美	
			「観世音寺」創建をめぐって		8	山田 裕	
			『隋書』を徹底して読む －東夷伝高麗條（前半）－	1	10	石田敬一	
188	28年 4月	論 考	『新唐書』に記載されている 「邪古・婆邪・多尼」の位置		1	林 伸禧	
			天氏、尾張氏の時代	8	4	加藤勝美	
			「観世音寺」創建をめぐって	2	7	山田 裕	
			『隋書』を徹底して読む －東夷伝高麗條（中段）－	2	14	石田敬一	
189	28年 5月	論 考	推古紀における諸問題	1	1	林 伸禧	参考資料
			「観世音寺」創建をめぐって	3	5	山田 裕	
			天氏、尾張氏の時代	9	6	加藤勝美	
			「年代歴」を分析する	1	8	石田敬一	
			『隋書』を徹底して読む －東夷伝高麗條（中段の2）－	3	14	石田敬一	
190	28年 6月	論 考	「年代歴」を分析する	2	1	石田敬一	
			天智天皇の正体		4	竹嶋正雄	
			推古紀における諸問題	2	8	林 伸禧	別表1～4
			『隋書』を徹底して読む －東夷伝高麗條（後半）－	4	12	石田敬一	
		ひろば	古代逸年号を見つけたよ	5	14	石田敬一	

号数	発行年月	分類	表題	連載回数	頁	著者	備考
191	28年 7月	論考	九州王朝から分かる九州王朝の営み		1	竹嶋正雄	
			拘奴国について		6	石田敬一	
			『赤淵神社縁起』の「天長五年丙子」の解釈について		8	林 伸禧	
		ひろば	古代逸年号を見つけたよ	6	14	石田敬一	
192	28年 8月	報告	「第28回サマーセミナー2016」講座結果教科書が教えない！ 邪馬台国の真実！		1	石田敬一	
		論考	拘奴国について	2	5	石田敬一	
			古代逸年号	1	8	林 伸禧	別紙1・2、別図1、別冊「古代逸年号(未定稿)」
		ひろば	古代逸年号を見つけたよ	7	9	石田敬一	
193	28年 9月	論考	拘奴国について	3	1	石田敬一	
			天武天皇の不思議		7	竹嶋正雄	
			前田尊経閣善本影印集成『二中歴』年代歴の欠字について	12		林 伸禧	別紙1～7参考資料
		ひろば	朱儒国について		17	林 伸禧	
194	28年10月	論考	神武天皇の熊野からの侵入譚の検証		1	佐藤章司	
			幻の小人・・・コロポックル		6	今井俊閑	
			朱儒国について		9	石田敬一	
			『日本書紀』年表4	12		林 伸禧	別冊『日本書紀』年表4
			拘奴国について	4	13	石田敬一	
195	28年11月	論考	天孫降臨説話と倭健命の死		1	佐藤章司	
			美濃国半布里の里の秦人		4	畑田寿一	
			「兄弟年号」にかかる『健軍大明神縁起』について		6	林 伸禧	
			「年代歴」の法清の細註		11	石田敬一	
196	28年12月	論考	九州古代史探訪旅行	1	1	山田 裕	
			前田家『二中歴』の経緯と年代歴「欠字」について		3	竹嶋正雄	
			激動時代に活躍した外交官吉士一族を追う		6	畑田寿一	
			建元・改元	1	10	林 伸禧	
		その他	「東海の古代」(185号～196号) 目録		9	編集部	別表
		ひろば	私が投げかける3つの問題		13	石田敬一	

平成29年「東海の古代」(185号～196号) 目録

号数	発行年月	分類	表 題	連載回数	頁	著 者	備 考
197	29年 1月	論 考	年頭のあいさつ		1	会長 竹内 強	
			「東鯷人」を考える		2	竹嶋正雄	
			九州古代史探訪旅行	2	7	山田 裕	
			倭人の二倍年暦と暦		10	佐藤章司	
		ひろば	私が投げかける問題	2	11	石田敬一	
198	29年 2月	論 考	九州古代史探訪旅行	3	1	山田 裕	
			韓国内陸行と持衰と生口 <small>じさい</small>		2	佐藤章司	
			ハツクニシラス <small>スメラミコト</small> 天皇 の考察		5	竹嶋正雄	
			知多半島の塩からみる律令時代の租税制度の実態と考察		9	畑田寿一	
		ひろば	私が投げかける問題	3	11	石田敬一	
199	29年 3月	論 考	『房総叢書』から見えるもの		1	林 伸禧	別紙1～3
			美濃国からみた壬申の乱		2	畑田寿一	
			神武天皇と崇神天皇は同一人物		5	竹嶋正雄	
			九州古代史探訪旅行	4	10	山田 裕	
			常世国と高天原と天国 <small>あまこく</small>	1	12	佐藤章司	
		ひろば	生口について一言		15	石田敬一	
200	29年 4月	論 考	古代逸年号掲載文献一覧		1	林 伸禧	別表1・2
			常世国と高天原と天国 <small>あまこく</small>	2	9	佐藤章司	
			九州古代史探訪旅行	5	12	山田 裕	
			日本への暦の伝来を探る		13	畑田寿一	
		ひろば	年紀について一言		15	石田敬一	